

新とちぎ産業成長戦略の指標の目標値の見直しについて

令和5（2023）年12月
産業労働観光部産業政策課

1 見直しを行う指標の考え方

次の3つの要件のいずれかに当てはまる指標

- ・直近の実績値が目標値を上回るなど、これまでの傾向等から更なる向上が想定される指標等
- ・戦略策定時に「コロナの状況や影響を踏まえ目標値の見直しを行う」として、具体的な数値設定を保留している指標等
- ・根拠となる法令や国の個別施策計画など、設定根拠に変更が生じる指標等

2 指標の目標値の見直し

成果指標	現状値		直近実績値		目標値		
						見直し前	見直し後
サービス産業の売上高	H30(2018)	91,213億円	R2(2020)	92,323億円	R6(2024)	現状値を上回る	95,956億円
戦略3産業の製造品出荷額等	H30(2018)	17,422億円	R3(2021)	13,802億円	R6(2024)	現状値を上回る	19,915億円
食料品製造業の製造品出荷額等	H30(2018)	6,650億円	R3(2021)	6,648億円	R6(2024)	現状値を上回る	6,918億円
観光消費額	R元(2019)	7,054億円	R4(2022)	6,617億円	R7(2025)	現状値を上回る	7,087億円
観光客宿泊数	R元(2019)	826万人	R4(2022)	724万人	R7(2025)	現状値を上回る	863万人
外国人宿泊数	R元(2019)	24.7万人	R4(2022)	4.6万人	R7(2025)	現状値を上回る	27.4万人
女性就業率(15～64歳) 〔事業所規模30人以上〕	R元(2019)	33.7%	R4(2022)	35.1%	R7(2025)	35.0%	40.0%
障害者の雇用率	R元(2019)	2.07%	R4(2022)	2.38%	R7(2025)	2.45%	2.60%

※ 変更後の目標値は令和6（2024）年度から適用とする。